

第6回 地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会
一次 第一

日 時 令和6年1月23日(火)
午後3時から
場 所 たつの市役所新館4階
災害対策本部兼大会議室

1 開 会

2 協議事項

- ・第2期中期計画(案)について

3 その他

4 閉 会

第6回 地方独立行政法人

たつの市民病院機構評価委員会資料

議題(1) 第2期中期計画(案)について

・第2期中期計画(案)

(P1～15)

・意見書(案)

(P16～17)

地方独立行政法人たつの市民病院機構第2期中期計画（案）

前文

地方独立行政法人たつの市民病院機構（以下「市民病院機構」という。）は、法人の定款で定められた目的を果たすため、たつの市長から指示された中期目標を達成する具体的な計画として、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、ここに中期計画を定める。

令和2年4月からスタートした1期目については、市民病院機構の礎となる体制を築くとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という医療を取り巻く環境が大きく変遷していく中、職員一丸となって地域医療の最前線である公的医療機関としての使命を果たしてきた。

2期目となる本中期計画では、社会情勢の変化やポストコロナ時代に即した医療サービスの在り方を見極めるとともに、病院経営についても、新型コロナウイルス感染症対策の反動など医療経営を取り巻く環境が一層厳しくなることが見込まれる。

引き続き「こころある医療」を通して地域に貢献する理念の下、市民病院機構のあるべき姿や使命を果たすべく、医療の質の更なる向上と安定した経営を目指すものである。

第1 中期計画の期間

中期計画の期間は、令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間とする。

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療構想を踏まえた果たすべき役割

(1) 地域医療構想を踏まえた医療の提供

地域医療構想については、地域医療構想調整会議へ参画し、兵庫県及び龍野健康福祉事務所と十分に連携し、最新の情報収集を行う。

回復期病床を中心とした市民病院の特徴を踏まえ、疾病ごとの積極的な医療提供に取り組む。

がん治療については、がん拠点病院や基幹病院等での治療後のフォローを行う。

脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患については、高度・専門的な医療機関での急性期治療を終えた患者の回復期リハビリテーションを積極的に受け入れ、在宅復帰を支援する。

糖尿病については、市民総合健診や人間ドック等健診（検診）事業の充実を図るとともに、医師の確保に努め、疾病予防及び介護予防に積極的に取り組む。

精神疾患については、うつ病・認知症・発達障害・依存症等の患者や高齢化に伴う身体合併症を有する精神障害者の対応が必要な場合には精神科病院や受入可能な医療機関との連携を図る。

播磨姫路圏域の医療機能分担による病床機能については、地域の医療ニーズを踏まえ、必要な病床を確保し地域医療構想との整合を図る。

【数値目標】

項目	令和4年度実績	令和9年度目標値
高度急性期病床 (床)	4	4
急性期病床 (床)	36	36
回復期リハビリ病床 (床)	40	40
地域包括ケア病床 (床)	40	40

(2) 救急医療の安定化

救急医療については、休日・夜間においても院内の各部署や救急隊との連携を強化し、24時間365日体制により救急患者受入体制を確保する。

救急対応や他の医療機関からの亜急性期以降の二次救急医療による入院に対して、ベッドコントロールや職員間の引継ぎ体制を充実させ、受入れ体制の強化を図る。

【数値目標】

項目	令和4年度実績	令和9年度目標値
地域救急貢献率 (%)	2.12	2.35

(3) 地域包括ケアシステムへの貢献と在宅医療の充実

地域包括ケアシステムの中心的役割を担うため、病院－在宅連携ルールの徹底や地域の医療機関の後方連携等、診療圏における地域の医療機関、介護支援専門員、介護事業所、市等との連携について地域連携室を中心に取り組むことで、入院から在宅療養まで、患者やその家族を取り巻く環境に応じた適切な支援を行う。

回復期病棟では、急性期を脱しても、医学的・社会的サポートが必要な患者を受入れ、多職種で編成する専門チームにより集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅へ復帰できるよう支援する。

在宅医療については、在宅療養支援病院として、地域における中心的な役割を担うとともに、訪問診療、訪問リハビリ及び看取りの実施体制の更なる強化を図り、退院後の在宅生活を支援する。

また、外来診療科については、多角的に診療を行う総合診療体制を維持するとともに、安全安心な在宅生活を支える視点に立った外来機能の充実を図る。

訪問看護ステーションについては、24時間対応の実施やたつの市・揖保郡医師会在宅サポート医制におけるコールセンター機能等のサービスを充実させる

とともに、病院事業との連携による看取りも含めた切れ目のない医療サービスの提供の一翼を担う。

【数値目標】

項目	令和4年度実績	令和9年度目標値
年間紹介率 (%)	43.9	45.0
年間逆紹介率 (%)	17.4	35.0

(4) へき地医療の提供

へき地である室津地区については、室津地区を取り巻く環境や医療ニーズを考慮しながら、室津診療所における外来診療及びたつの市民病院や訪問看護ステーションからの訪問診療、訪問看護等により、安定的な医療を提供する。

(5) 新興感染症対応と予防医療の充実

新興感染症対応への平時からの取組については、公的医療機関としての役割を担うため、近隣病院との連携強化を図る。また、感染拡大時に活用しやすい施設の整備や維持管理を行うとともに、感染防護具、衛生資材、検査薬等、院内の備蓄体制を整える。

新興感染症の感染拡大時については、感染対策室が院内の感染症対策拠点となり、たつの市、龍野健康福祉事務所、たつの市・揖保郡医師会など、地域の関係機関との情報共有に努め、相互応援体制の構築を図る。

また、インフルエンザやコロナウイルス等の予防接種に積極的に対応するとともに、海外渡航時の感染症対策等の啓発を図る。

市民総合健診や人間ドック等の健診（検診）事業については、受診者のニーズを踏まえ質の向上を図る。

(6) 災害時の対応

西播磨圏域地域災害救急医療マニュアルを勘案し、医薬品の備蓄など災害や事故等の緊急時の備えを行うとともに、地域医療情報センターからの求めに応じて対応する。

災害時に備えたBCP（事業継続計画）を整備し、災害訓練の積極的な実施等を行い、災害時の医療体制の強化を図る。

(7) 播磨姫路圏域における連携強化

たつの市・揖保郡医師会をはじめとする関係団体とそれぞれの団体が主催する会合等を通じて、連携強化を図る。

播磨姫路圏域で中核的医療を担う基幹病院とは、回復期機能・初期救急等の役割を明確にした上で、連携体制を強化する。また、圏域内の医療機関とは圏域会議、研修会等を通じて、連携強化及び充実を図る。

播磨科学公園都市圏域定住自立圏における連携については、引き続き連携事業の実施を通じて圏域内の医療圏域体制の充実を図る。

2 地域住民や患者が安心できる医療の提供

(1) 医療安全及び医療サービスの質の向上

医療安全については、医療安全推進部会を中心に、インシデント・アクシデント等の情報を収集・分析し、医療安全対策やマニュアル整備、医療安全の研修等を実施する。また、各種委員会・部会・カンファレンス等を活用し情報共有することで、迅速な対応と職員の医療安全管理の意識向上を図る。

医療の質の向上については、市民病院機構における様々な医療の質や機能をクオリティインディケータの手法を用いて測定及び公表を行うとともに、第三者機関による中立的・科学的な評価となる病院機能評価の受審、認定に向け取り組む。

入院医療については、クリティカルパスの充実を図ることで、医療の標準化に取り組む。患者・家族に対して治療内容を明確に理解してもらうことで、医療サービスの質の向上を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
医療の質の測定・公表回数(回/年)	1	1

(2) 患者満足度の向上

患者満足度調査(患者アンケート)をサービス向上委員会が中心となり定期的に実施し、患者のニーズや課題の把握を行うとともに、待ち時間の短縮や院内環境の整備等の患者の要望に対し、患者本位の業務改善や対策を図る。

苦情や要望については、院内に意見箱を設置し、医療安全対策室を中心に担当部署や職員と情報共有し、迅速な改善や対応に努める。

また、患者に対する的確な診断と治療はもとより、診断内容、治療計画、更には副作用やリスク等を含めて十分説明し、患者が理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
入院患者満足度 (%)	91.2	92.0
外来患者満足度 (%)	94.0	95.0

(3) 職員の接遇向上

接遇研修を計画的に実施し、全職員の接遇スキルの向上を図る。

接遇に係る患者満足度調査(患者アンケート)の結果や苦情内容等について、職員へ周知し情報共有することで、職員の日々の接遇に対する意識付けを徹底する。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
入院患者接遇満足度 (%)	87.9	90.0
外来患者接遇満足度 (%)	100.0	100.0

(4) 市民への情報発信

ホームページの定期的な更新や院内紹介動画等のICT（情報通信技術）を活用し、積極的な情報発信を図る。また、病院内外に向けて院内掲示の充実、広報誌の作成、市広報やマスコミへの情報提供等、情報発信の充実を図る。市民公開講座及び出前講座を開催し、健康増進の啓発を図る。

3 医療の従事者の確保と育成

(1) 医療従事者の確保

安定的に医療を提供するため、大学への医師派遣の依頼、人材紹介会社の活用、ホームページによる採用情報の発信等、医師の確保を図る。

また、ホームページの採用ページの充実、実習生の積極的な受入、看護学校等への訪問、ナースバンクへの登録、インターンシップや見学会、体験事業の受入、就職説明会への参加等、市民病院機構を広くPRし、看護師やその他医療職の確保を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
医師数 (人)	8	10
看護師数 (人)	82	82
その他医療職 (人)	47	47

(2) 医療従事者の育成

地域を支える医療を実現できる人材を育成するため、職種やキャリアに応じた育成プランを構築し、医療従事者一人ひとりの成長に合わせたステップアップを支援する。

医療従事者の育成に必要な研修については、管理職によるマネジメントを徹底し、計画的に実施するとともに、eラーニングや電子書籍等のICTを活用し職員の自主性を促す研修体制を充実させることで、組織全体として研修の受講を積極的に推進する組織風土を根付かせ、職員の専門的な知識の習得や技術向上を支援する。

病院運営において有益な専門資格や認定の取得については、取得における職場でのサポートや資格手当の支給等による支援体制の充実を図る。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 組織ガバナンスの確立

(1) 効率的な組織体制と専門職員の確保

理事長のリーダーシップによる迅速な意思決定を支援するため、理事会の適切な運営に努めるとともに、経営幹部会、連絡会により意思決定を確実に遂行する。

また、病院の経営戦略に即した効率的で柔軟な組織改編や人員を配置する。

専門職員については、病院経営特有の専門知識を持った優秀な人材を確保する。

(2) 目標管理のモニタリングと評価

経営改革を組織全体に浸透させるため、理事長が中心となってバランススコアカード等を活用し目標を管理する。また、内部統制担当役員を中心に、マネジメントレビューを計画的に実施し、経営情報や業務方法の課題等について分析・検討を行う。

人事評価において目標管理制度による達成度評価を行い、各部門や職員にフィードバックするとともに、PDCAサイクルにより更なる改善を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
マネジメントレビュー実施回数(回/年)	2	2

(3) コンプライアンスの徹底

職員一人ひとりが自覚をもって関係法令や内部規程を遵守する組織風土を醸成するため、職員研修の定期的な実施や職員間での最新情報の共有を図る。

ハラスメント対策については、未然に防ぐための研修や相談体制の充実を図る。

(4) リスクマネジメント体制の充実

リスク管理委員会においてリスク管理を適正に行う。

個人情報保護については、改正個人情報保護法に対応するとともに、職員への周知徹底を図り適切な対応に努める。

(5) デジタル化の推進

医療情報システムを活用し、業務の負担軽減や効率化を図る。マイナンバーカードの健康保険証利用については、引き続き利用促進を図る。

情報セキュリティの安全管理のため職員や担当者向けの講習会や研修を開催し、情報セキュリティリテラシーの向上を図る。

また、「ランサムウェア」等の病院を標的としたサイバー攻撃に対応したバックアップシステムの構築や損害賠償保険に加入し、情報セキュリティ対策を強化する。

2 職員の士気の向上

(1) 職員の意識改革

市民病院機構の理念や基本方針、中期目標、中期計画については、経営陣であ

る役員は基より、全職員とも共有を図り、職員一丸となって職務に取り組んでいく組織風土を醸成する。

組織内での伝達体系の強化やICTの活用等によって、市民病院機構全体だけでなく部署ごとの目標や結果、その他経営情報等の共有を図る。

(2) 働きやすい職場環境の確保と働き方改革への対応

職員が業務に専念できる環境を整えるため、職員満足度アンケートを実施し、職員の意見や要望を吸い上げ、職場環境に反映していく仕組みの充実を図る。

ワークライフバランスの実現に向けて、有給休暇取得の促進や育児休業からの復職を支援する仕組みの充実等、仕事と家庭が両立できる環境を推進していく。

多職種のリエゾンチームによるチーム医療の推進や看護補助者の積極的な活用等によりタスクシェアやタスクシフトを推進し、医療職の負担軽減に取り組む。

医師の働き方改革については、非常勤医師による宿日直体制の整備等常勤医師の時間外労働軽減に取り組む。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
年次有給休暇取得日数（日／年）	12.7	12.8

(3) 人事制度・給与体系の構築

人事制度・給与体系については、職員の業績や能力を公正に評価するための人事評価制度の適正な運用を図るとともに、社会情勢に適応し、評価に基づく給与体系を構築することで職員のモチベーションの向上、職員確保及び組織の活性化を図る。

第4 財務内容の改善に関する事項

1 収入の増加・確保

(1) 病床利用率・診療単価の向上

部署間での連携を密にして、各病棟におけるベッドコントロールを適正に実施し、予測できない医療環境の変化に柔軟に対応しながら他病院からの紹介や救急対応による患者をできる限り受け入れることで、新規入院患者数の増加や病床利用率の向上を図る。

診療単価については、新型コロナウイルス感染症の特例措置の見直しをはじめ減少することが見込まれる中、診療報酬改定項目の分析を行い、算定可能である項目の体制整備を行うことで、基礎となる診療単価を確保の上、更なる診療単価向上を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
1日平均入院患者数(人)	96.5	100.8
1日平均外来患者数(人)	175.7	154.5
新規入院患者数(人)	1,249	1,600
病床利用率(%)	80.4	84.0
入院診療単価(円)	42,483	39,800
外来診療単価(円)	10,313	9,600

(2) 医療環境の変化への対応

診療報酬の改定や法改正については、適切な診療報酬を確保し、安定的な収益向上を図るため、徹底した情報収集や分析を行い、迅速かつ的確に対応する。

診療報酬の査定減・返戻・請求漏れについては、レセプトチェックソフトを活用した効率的な点検や分析を行う。また、診療報酬に係る査定や返戻の結果と対応策について、診療部と医事部門による定期的な情報共有や検討を実施し、診療報酬請求の精度向上を図る。

未収金については、院内の連携や患者への説明、督促、訪問徴収等未収金の管理体制を強化し、発生防止と早期回収に努める。

生活困窮者については、専用相談窓口を設けソーシャルワーカーによる相談支援を早期に行い、支払方法や社会資源の活用等、それぞれの状況に応じて対応する。

2 経費削減・抑制

(1) 施設管理の強化

施設の維持修繕については、中期計画期間において計画的に実施することで、施設の長寿命化を図る。

また、施設管理や業務運営等に伴う経費については、今後物価高騰により経費増加が見込まれる中、費用の状況を定期的に分析し、改善策を検討することで、職員のコスト削減意識を高め、積極的にコスト削減を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
経費比率(%)	12.1	13.8

(2) 医療機器の適正な管理

医療機器については、日常的に点検や定期的なメンテナンスを行い、機能を維持する。

医療機器の更新については、整備計画に基づき、医療機器購入検討委員会を中心に必要性や費用対効果を勘案した上で、計画的に更新を行う。

(3) 材料費の抑制

医薬品や診療材料については、SPD（院内物流管理）による適正な在庫管理を行う。また、診療材料委員会を中心として診療材料に導入しているSPDの運用方法や診療材料の費用対効果を検討し材料費の抑制を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
材料費比率 (%)	14.1	10.1

(4) 人件費の適正化

市民病院機構職員については、中長期的な人員計画に基づき、組織規模に応じた人員管理を行う。また、人件費の適正化を図るため、今後見込まれる人件費上昇に対応しつつ、限りある人材を最大限に生かし、効率的かつ効果的な人員配置や組織づくりに努める。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
医業収益対給与費比率 (%)	68.2	75.4

(5) 効率的な予算執行

予算については、部署別、部門別の予算執行状況及び経営状況の常時把握や予算配分の適正実施を引き続き確保し、厳格に予算管理を行うとともに、病院運営において有効な業務や即時対応が必要な業務等において、弾力的な運用が可能な地方独立行政法人の会計制度を活用した効率的な予算執行を行う。

(6) 契約方法の見直し

契約方法については、定期的に精査し、複数年契約等の契約期間や契約内容の見直しを行い、調達コストの削減を図る。

3 経営基盤の強化

(1) 中期目標期間の経営

中期目標の確実な達成と、更なる発展を目指し、理事長を筆頭に役員が中心となって職員全体による経営改革を推進できる体制を確保する。また、新型コロナウイルス感染症対策の反動や物価高騰など、医業経営を取り巻く環境が厳しくなることが見込まれる中、地域に根差した中長期的な視点で安定的な病院経営を行い、中期目標期間における経常収支の黒字に努めるとともに、医業収支比率及び修正医業収支比率の向上を図る。

【数値目標】

	令和4年度実績	令和9年度目標値
経常収支比率 (%)	108.8	102.3
医業収支比率 (%)	97.6	95.8
修正医業収支比率 (%)	95.0	93.1

(2) 運営費負担金

運営費負担金及び運営費交付金については、中期目標に示された不採算医療等を実施するために総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じて必要な金額を計上する。

第5 その他業務運営に関する重要事項

1 附帯事業

附帯事業となる訪問看護ステーションれんげ、たつの市居宅介護支援事業所及び室津診療所については、それぞれの事業において地域のニーズに応えながら、病院事業との連携を密にして効率的な運営に努める。

第6 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画

1 予算(令和6年度～令和9年度)

(単位:百万円)

区分	金額
収入	
営業収益	9,061
医業収益	7,795
訪問看護・居宅介護支援事業収益	244
運営費負担金	975
その他営業収益	47
営業外収益	20
運営費負担金	11
その他営業外収益	9
資本収入	376
運営費負担金	188
長期借入金	188
その他資本収入	0
その他の収入	0
計	9,457
支出	
営業費用	8,488
医業費用	7,935
給与費	5,885
材料費	866
経費	1,158
研究研修費	26
訪問看護・居宅介護支援事業費用	246
給与費	216
材料費	4
経費	26
一般管理費	307
営業外費用	284
資本支出	576
建設改良費	188
償還金	388
その他の支出	0
計	9,348

【人件費の見積】

期間中総額6,363百万円を支出する。なお、当該金額は、市民病院機構の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費、退職手当の額に相当するものである。

【運営費負担金の見積】

救急医療等の行政的経費及び高度医療等の不採算経費については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方による。

建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

(注1) 金額は、それぞれ四捨五入によっているので、合計と一致しないものがある。

2 収支計画 (令和6年度～令和9年度)

(単位:百万円)

区分	金額
収入の部	
営業収益	9, 232
医業収益	7, 778
訪問看護・居宅介護支援事業収益	244
運営費負担金収益	942
資産見返補助金等戻入	224
その他営業収益	44
営業外収益	20
臨時利益	0
支出の部	
営業費用	8, 858
医業費用	8, 313
給与費	5, 881
材料費	787
経費	1, 052
減価償却費	570
研究研修費	23
訪問看護・居宅介護支援事業費用	242
給与費	215
材料費	4
経費	23
一般管理費	303
営業外費用	283
臨時損失	0
純利益	111
目的積立金取崩額	-
純利益	111

(注1) 金額は、それぞれ四捨五入によっているので、合計と一致しないものがある。

3 資金計画（令和6年度～令和9年度）

（単位：百万円）

区分	金額
資金収入	
業務活動による収入	9, 240
診療業務による収入	7, 778
運営費負担金による収入	1, 174
その他の業務活動による収入	288
投資活動による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	197
長期借入れによる収入	188
その他の財務活動による収入	9
前期中期目標の期間よりの繰越金	275
資金支出	
業務活動による支出	8, 567
給与費支出	6, 363
材料費支出	791
その他の業務活動による支出	1, 413
投資活動による支出	171
有形固定資産の取得による支出	171
無形固定資産の取得による支出	0
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	411
長期借入金の返済による支出	297
移行前地方債償還債務の償還による支出	91
その他の財務活動による支出	23
次期中期目標の期間への繰越金	563

（注1） 金額は、それぞれ四捨五入によっているもので、合計と一致しないものがある。

第7 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

（1） 限度額 500百万円

（2） 想定される短期借入金の発生事由

ア 一時的な資金不足への対応

イ 大規模災害や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応

第8 出資等に係る不要財産の処分に関する計画

1 出資等に係る不要財産の処分に関する計画

介護老人保健事業の廃止に伴い、介護老人保健施設ケアホームみつ入所棟の解体撤去を行う。

第9 第8の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

1 第8の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

第10 剰余金の使途

1 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。

第11 料金に関する事項

1 料金

料金は、次に定める額とする。

(1) 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)及び介護保険法(平成9年法律第123号)その他法令等により診療等を受ける者に係る料金

当該法令の定めるところにより算定した額

(2) 前号以外の額

別に理事長が定める額

2 減免

理事長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、料金の全部又は一部を減免することができる。

(1) 料金を納付する資力がないと認める者

(2) その他理事長において特に必要があると認める者

第12 地方独立行政法人たつの市民病院機構の業務運営等に関する規則で定める事項

1 施設及び整備に関する計画

(単位:百万円)

施設及び設備の内容	予定額	財源
施設、医療機器等整備	188	たつの市長期借入金等

2 中期目標の期間を超える債務負担

(1) 移行前地方債償還債務

(単位:百万円)

	中期目標期間 償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額
移行前地方債償還債務	91	268	359

(2) 長期借入金償還債務

(単位:百万円)

	中期目標期間 償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額
長期借入金償還債務	297	101	398

3 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画

前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設の整備、修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。



令和6年1月 日

たつの市長 山 本 実 様

地方独立行政法人
たつの市民病院機構評価委員会
委員長 松 田 貴 典

意 見 書

地方独立行政法人たつの市民病院機構に係る地方独立行政法人たつの市民病院機構第2期中期計画（案）（以下「第2期中期計画」という。）について、地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会条例（平成31年条例第1号）第3条第1項第1号の規定に基づく、地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会（以下「委員会」という。）の意見は下記のとおりです。

記

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第26条第1項の規定に基づく第2期中期計画については、委員会において審議を行ってきたところであり、これまでの審議において各委員から出された見識が適切に反映されていることから、妥当なものと認めます。

【参考】地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会条例

（所掌事務）

第3条 委員会は、地方独立行政法人法（以下「法」という。）の規定によりその権限に属させられた事項を処理するほか、市長の求めに応じ、次に掲げる事項について意見を述べる。

- (1) 法第26条第1項※の規定に基づく中期計画の認可に関すること。
- (2) 法第28条第1項第1号及び第3号に定める事項の評価に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

※地方独立行政法人法第26条第1項

地方独立行政法人は、前条第一項の指示を受けたときは、中期目標に基づき、設立団体の規則で定めるところにより、当該中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、設立団体の長の認可を受けなければならない。当該中期計画を変更しようとするときも、同様とする。



た 企 第 6 1 号
令和 5 年 11 月 28 日

地方独立行政法人
たつの市民病院機構評価委員会
委員長 松 田 貴 典 様

たつの市長 山 本 実

地方独立行政法人たつの市民病院機構第 2 期中期計画について

地方独立行政法人たつの市民病院機構第 2 期中期計画の策定に当たり、地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会条例（平成 3 1 年条例第 1 号）第 3 条第 1 号の規定に基づき、地方独立行政法人たつの市民病院機構評価委員会の意見を求めます。

第6回 地方独立行政法人

たつの市民病院機構評価委員会資料

- I 中期目標に対応する中期計画の項目及び指標と (P1～11)
中期計画に基づいた各年度計画における指標について

- II 中期計画・年度計画数値一覧表 (P12～14)

中期目標に対応する中期計画の項目及び指標と中期計画に基づいた各年度計画における指標について

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】																														
大項目	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																
中項目	1 地域医療構想を踏まえた果たすべき役割	1 地域医療構想を踏まえた果たすべき役割																																
小項目	<p>(1) 地域医療構想を踏まえた医療の提供</p> <p><u>○地域医療構想との整合性</u> 兵庫県が策定する地域医療構想との整合性を図ること。</p> <p><u>○病床機能の対応</u> 病床機能については、地域医療構想を十分に踏まえながら、今後の医療需要の動向に対応すること。</p>	<p>(1) 地域医療構想を踏まえた医療の提供</p> <p><u>○地域医療構想の動向に対する情報収集</u> 地域医療構想については、地域医療構想調整会議へ参画し、兵庫県及び龍野健康福祉事務所と十分に連携し、最新の情報収集を行う。</p> <p><u>○5疾病への対策</u> 回復期病床を中心とした市民病院の特徴を踏まえ、疾病ごとの積極的な医療提供に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がん がん治療については、がん拠点病院や基幹病院等での治療後のフォローを行う。 ●脳卒中・急性心筋梗塞 脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患については、高度・専門的な医療機関での急性期治療を終えた患者の回復期リハビリテーションを積極的に受け入れ、在宅復帰を支援する。 ●糖尿病 糖尿病については、市民総合健診や人間ドック等健診（検診）事業の充実を図るとともに、医師の確保に努め、疾病予防及び介護予防に積極的に取り組む。 ●精神疾患 精神疾患については、うつ病・認知症・発達障害・依存症等の患者や高齢化に伴う身体合併症を有する精神障害者の対応が必要な場合には精神科病院や受入可能な医療機関との連携を図る。 <p><u>○圏域内の医療機能分担による病床機能の確保</u> 播磨姫路圏域の医療機能分担による病床機能については、地域の医療ニーズを踏まえ、必要な病床を確保し地域医療構想との整合を図る。</p>	<p>・病床数 (床)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期病床</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>急性期病床</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリ病床</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア病床</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	高度急性期病床	4	4	急性期病床	36	36	回復期リハビリ病床	40	40	地域包括ケア病床	40	40	<p>・病床数 (床)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期病床</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>急性期病床</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリ病床</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>地域包括ケア病床</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	高度急性期病床	4	4	急性期病床	36	36	回復期リハビリ病床	40	40	地域包括ケア病床	40	40
項目	R4実績	R9目標値																																
高度急性期病床	4	4																																
急性期病床	36	36																																
回復期リハビリ病床	40	40																																
地域包括ケア病床	40	40																																
項目	R4実績	年度計画値																																
高度急性期病床	4	4																																
急性期病床	36	36																																
回復期リハビリ病床	40	40																																
地域包括ケア病床	40	40																																
小項目	<p>(2) 救急医療の安定化</p> <p><u>○救急医療の安定化に向けた受入態勢の維持・充実</u> 地域全体における救急医療の安定化に貢献する役割を果たすため、休日・夜間を含めた内科系患者の受入体制を維持・充実させること。</p>	<p>(2) 救急医療の安定化</p> <p><u>○救急患者の受入態勢の確保</u> 救急医療については、休日・夜間においても院内の各部署や救急隊との連携を強化し、24時間365日体制により救急患者受入体制を確保する。</p> <p><u>○入院の受入体制強化</u> 救急対応や他の医療機関からの亜急性期以降の二次救急医療による入院に対して、ベッドコントロールや職員間の引継体制を充実させ、できる限り受け入れ体制を強化する。</p>	<p>・地域救急貢献率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域救急貢献率</td> <td>2.12</td> <td>2.35</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地域救急貢献率 二次医療圏内の播磨姫路医療圏で緊急搬送された患者に対して、病院で引き受けた救急患者の割合を示します。</p>	項目	R4実績	R9目標値	地域救急貢献率	2.12	2.35	<p>・地域救急貢献率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域救急貢献率</td> <td>2.12</td> <td>2.18</td> </tr> </tbody> </table> <p>・救急入院患者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急入院患者数</td> <td>470</td> <td>470</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	地域救急貢献率	2.12	2.18	項目	R4実績	年度計画値	救急入院患者数	470	470												
項目	R4実績	R9目標値																																
地域救急貢献率	2.12	2.35																																
項目	R4実績	年度計画値																																
地域救急貢献率	2.12	2.18																																
項目	R4実績	年度計画値																																
救急入院患者数	470	470																																

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】																																							
小項目	<p>(3) 地域包括ケアシステムへの貢献と在宅医療の充実</p> <p>○地域包括ケアシステムの中心的役割を担う 高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、地域包括ケアシステムの実現に向けて、公的な医療機関として中心的かつ先導的な役割を果たすこと。</p> <p>○地域の在宅医療体制の充実 特に、地域の在宅支援においては、地域包括ケアシステムを支える在宅療養支援病院として、訪問診療を始めとした在宅医療体制を充実させること。</p>	<p>(3) 地域包括ケアシステムへの貢献と在宅医療の充実</p> <p>○診療圏における連携の充実による切れ目のない適切な支援 地域包括ケアシステムの中心的役割を担うため、病院-在宅連携ルールの徹底や地域の医療機関の後方連携等、診療圏における地域の医療機関、介護支援専門員、介護事業所、市等との連携について地域連携室を中心に取り組むことで、入院から在宅療養まで、患者やその家族を取り巻く環境に応じた適切な支援を行う。</p> <p>○回復期病棟における自宅・社会復帰支援 回復期病棟では、急性期を脱しても、医学的・社会的サポートが必要な患者を受け入れ、多職種で編成する専門チームにより集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅へ復帰できるよう支援する。</p> <p>○在宅療養支援病院としての役割・訪問診療・訪問リハビリの体制強化 在宅医療については、在宅療養支援病院として、地域における中心的な役割を担うとともに、訪問診療、訪問リハビリ及び看取りの実施体制の更なる強化を図り、退院後の在宅生活を支援する。</p> <p>○在宅生活を支える外来機能の提供 また、外来診療科については、多角的に診療を行う総合診療体制を維持するとともに、安全安心な在宅生活を支える視点に立った外来機能の充実を図る。</p> <p>○訪問看護ステーションの充実と連携 訪問看護ステーションについては、24時間対応の実施やたつの市・揖保郡医師会在宅サポート医制におけるコールセンター機能等のサービスを充実させるとともに、病院事業との連携による看取りも含めた切れ目のない医療サービスの提供の一翼を担う。</p>	<p>・紹介率・逆紹介率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間紹介率</td> <td>43.9</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>年間逆紹介率</td> <td>17.4</td> <td>35.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	年間紹介率	43.9	45.0	年間逆紹介率	17.4	35.0	<p>・紹介率・逆紹介率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間紹介率</td> <td>43.9</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>年間逆紹介率</td> <td>17.4</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・在宅復帰率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般病棟 在宅復帰率</td> <td>75.5</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>回復期病棟 在宅復帰率</td> <td>99.1</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・訪問診療等件数 (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問診療件数</td> <td>851</td> <td>870</td> </tr> </tbody> </table> <p>・訪問看護ステーション利用者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>5,635</td> <td>5,600</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	年間紹介率	43.9	45.0	年間逆紹介率	17.4	30.0	項目	R4実績	年度計画値	一般病棟 在宅復帰率	75.5	90.0	回復期病棟 在宅復帰率	99.1	95.0	項目	R4実績	年度計画値	訪問診療件数	851	870	項目	R4実績	年度計画値	利用者数	5,635	5,600
項目	R4実績	R9目標値																																									
年間紹介率	43.9	45.0																																									
年間逆紹介率	17.4	35.0																																									
項目	R4実績	年度計画値																																									
年間紹介率	43.9	45.0																																									
年間逆紹介率	17.4	30.0																																									
項目	R4実績	年度計画値																																									
一般病棟 在宅復帰率	75.5	90.0																																									
回復期病棟 在宅復帰率	99.1	95.0																																									
項目	R4実績	年度計画値																																									
訪問診療件数	851	870																																									
項目	R4実績	年度計画値																																									
利用者数	5,635	5,600																																									
小項目	<p>(4) へき地医療の提供</p> <p>○室津地区の医療の確保 室津地区における医療については、安定的に確保すること。</p>	<p>(4) へき地医療の提供</p> <p>○室津地区の医療提供の確保 へき地である室津地区については、室津地区を取り巻く環境や医療ニーズを考慮しながら、室津診療所における外来診療及びたつの市民病院や訪問看護ステーションからの訪問診療、訪問看護等により、安定的な医療を提供する。</p>		<p>・室津診療所患者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>室津診療所患者数</td> <td>1,074</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	室津診療所患者数	1,074	900																																	
項目	R4実績	年度計画値																																									
室津診療所患者数	1,074	900																																									
小項目	<p>(5) 新興感染症対応と予防医療の充実</p> <p>○新興感染症に係る平時からの取組 既存の感染症への対応はもとより、新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症の感染拡大時の医療提供体制に必要な機能を平時から準備するとともに、地域の公的な医療機関として中心的かつ先導的な役割を果たすこと。</p>	<p>(5) 新興感染症対応と予防医療の充実</p> <p>○新興感染症対応に係る平時からの取組 新興感染症対応への平時からの取組については、公的医療機関としての役割を担うため、近隣病院との連携強化を図る。また、感染拡大時に活用しやすい施設の整備や維持管理を行うとともに、感染防護具、衛生資材、検査薬等、院内の備蓄体制を整える。 新興感染症の感染拡大時については、感染対策室が院内の感染症対策拠点となり、たつの市、龍野健康福祉事務所、たつの市・揖保郡医師会など、地域の関係機関との情報共有に努め、相互応援体制の構築を図る。</p>		<p>・人間ドック受診者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック受診者数</td> <td>806</td> <td>650</td> </tr> </tbody> </table> <p>・感染対策会議 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染対策会議実施回数</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	人間ドック受診者数	806	650	項目	R4実績	年度計画値	感染対策会議実施回数	4	4																											
項目	R4実績	年度計画値																																									
人間ドック受診者数	806	650																																									
項目	R4実績	年度計画値																																									
感染対策会議実施回数	4	4																																									

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】						
	<p>○市民健診や人間ドック等による疾病予防・介護予防の取組 市民病院の設備及び人員を生かし、市民健診や人間ドック等健診（検診）事業の充実を図り、疾病予防及び介護予防に積極的に取り組むこと。</p>	<p>○予防接種の協力・実施 また、インフルエンザやコロナウイルス等の予防接種に積極的に対応するとともに、海外渡航時の感染症対策等の啓発を図る。</p> <p>○市民健診や人間ドック等健診の充実 市民総合健診や人間ドック等の健診（検診）事業については、受診者のニーズを踏まえ質の向上を図る。</p>								
小項目	<p>(6) 災害時の対応</p> <p>○地域防災計画に基づく対応 ○災害時の医療提供体制への中心的役割 市の定める地域防災計画に基づき、災害や事故の発生に備えるとともに、災害時においては、市域の医療提供体制の中心的役割を担うこと。</p>	<p>(6) 災害時の対応</p> <p>○市の防災計画との整合性の確保 西播磨圏域地域災害救急医療マニュアルを勘案し、医薬品の備蓄など災害や事故等の緊急時の備えを行うとともに、地域医療情報センターからの求めに応じて対応する。</p> <p>○BCPIによる災害時の医療体制強化 災害時に備えたBCP（事業継続計画）を整備し、災害訓練の積極的な実施等を行い、災害時の医療体制の強化を図る。</p>		<p>・災害訓練実施回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害訓練回数</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	災害訓練回数	1	1
項目	R4実績	年度計画値								
災害訓練回数	1	1								
小項目	<p>(7) 播磨姫路圏域における連携強化</p> <p>○役割の明確化と関係団体との連携強化 播磨姫路圏域において、市民病院が担うべき役割や機能を明確にした上で、基幹病院等の医療機関や医師会、歯科医師会等の関係団体との連携を強化及び充実すること。</p>	<p>(7) 播磨姫路圏域における連携強化</p> <p>○関係団体との連携強化 たつの市・揖保郡医師会をはじめとする関係団体とそれぞれの団体が主催する会合等を通じて、連携強化を図る。</p> <p>○診療圏域における基幹病院との連携強化（回復期機能） 播磨姫路圏域で中核的医療を担う基幹病院とは、回復期機能・初期救急等の役割を明確にした上で、連携体制を強化する。</p> <p>○診療圏域における地域の医療機関との連携強化 また、圏域内の医療機関とは圏域会議、研修会等を通じて、連携強化及び充実を図る。</p> <p>○播磨科学公園都市圏域定住自立圏における連携事業 播磨科学公園都市圏域定住自立圏における連携については、引き続き連携事業の実施を通じて圏域内の医療圏域体制の充実を図る。</p>		<p>・連携事業数 (事業)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連携事業数</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	連携事業数	2	2
項目	R4実績	年度計画値								
連携事業数	2	2								
中項目	2 地域住民や患者が安心できる医療の提供	2 地域住民や患者が安心できる医療の提供								
小項目	<p>(1) 医療安全及び医療サービスの質の向上</p> <p>○医療安全への対策 医療安全や感染防止対策は、情報収集と分析、情報共有を行い、予防や再発防止等の対策を徹底すること。</p>	<p>(1) 医療安全及び医療サービスの質の向上</p> <p>○医療安全対策体制の強化 医療安全については、医療安全推進部会を中心に、インシデント・アクシデント等の情報を収集・分析し、医療安全対策やマニュアル整備、医療安全の研修等を実施する。また、各種委員会・部会・カンファレンス等を活用し情報共有することで、迅速な対応と職員の医療安全管理の意識向上を図る。</p>		<p>・1か月間100床当たりのインシデント報告回数 (回/月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント報告回数</td> <td>53.0</td> <td>61.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1か月間100床当たりのインシデント報告回数 医療の質を評価する指標で、1か月間100病床あたりのインシデント報告回数を示します。</p>	項目	R4実績	年度計画値	インシデント報告回数	53.0	61.0
項目	R4実績	年度計画値								
インシデント報告回数	53.0	61.0								

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】																								
	<p>○医療サービスの質の向上 医療サービスの質については、適切な指標を用い測定、分析及び公表することで、市民病院機構全体における向上を目指すこと。</p>	<p>○医療サービスの質の向上 医療の質の向上については、市民病院機構における様々な医療の質や機能をクオリティインディケータの手法を用いて測定及び公表を行うとともに、第三者機関による中立的・科学的な評価となる病院機能評価の受審、認定に向け取り組む。 入院医療については、クリティカルパスの充実を図ることで、医療の標準化に取り組み、患者・家族に対して治療内容を明確に理解してもらうことで、医療サービスの質の向上を図る。</p>	<p>・医療の質の測定・公表回数 (回/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療の質測定・公表回数</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	医療の質測定・公表回数	1	1	<p>・医療の質の測定・公表回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療の質測定・公表回数</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	医療の質測定・公表回数	1	1												
項目	R4実績	R9目標値																										
医療の質測定・公表回数	1	1																										
項目	R4実績	年度計画値																										
医療の質測定・公表回数	1	1																										
小項目	<p>(2) 患者満足度の向上</p> <p>○患者満足度の向上に繋がる患者サービスの向上 患者満足度や患者のニーズを的確に把握した上で、入院患者や外来患者の満足度の向上に繋がる対策を講じ、患者サービスの一層の向上を図ること。</p>	<p>(2) 患者満足度の向上</p> <p>○患者満足度調査の実施と改善 患者満足度調査(患者アンケート)をサービス向上委員会が中心となり定期的の実施し、患者のニーズや課題の把握を行うとともに、待ち時間の短縮や院内環境の整備等の患者の要望に対し、患者本位の業務改善や対策を図る。</p> <p>○患者満足度向上の取組強化 苦情や要望については、院内に意見箱を設置し、医療安全対策室を中心に担当部署や職員と情報共有し、迅速な改善や対応に努める。 また、患者に対する的確な診断と治療はもとより、診断内容、治療計画、更には副作用やリスク等を含めて十分説明し、患者が理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。</p>	<p>・入院・外来患者満足度 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者満足度</td> <td>91.2</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>外来患者満足度</td> <td>94.0</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	入院患者満足度	91.2	92.0	外来患者満足度	94.0	95.0	<p>・入院・外来患者満足度 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者満足度</td> <td>91.2</td> <td>92.0</td> </tr> <tr> <td>外来患者満足度</td> <td>94.0</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	入院患者満足度	91.2	92.0	外来患者満足度	94.0	95.0						
項目	R4実績	R9目標値																										
入院患者満足度	91.2	92.0																										
外来患者満足度	94.0	95.0																										
項目	R4実績	年度計画値																										
入院患者満足度	91.2	92.0																										
外来患者満足度	94.0	95.0																										
小項目	<p>(3) 職員の接遇向上</p> <p>○職員の接遇技術の向上 職員一人ひとりに接遇の重要性に対する意識を浸透させ、研修を実施する等、職員の接遇の向上を図ること。</p>	<p>(3) 職員の接遇向上</p> <p>○接遇研修の実施 接遇研修を計画的に実施し、全職員の接遇スキルの向上を図る。</p> <p>○情報の共有 接遇に係る患者満足度調査(患者アンケート)の結果や苦情内容等について、職員への周知し情報提供することで、職員の日々の接遇に対する意識付けを徹底する。</p>	<p>・接遇満足度 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者接遇満足度</td> <td>87.9</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>外来患者接遇満足度</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	入院患者接遇満足度	87.9	90.0	外来患者接遇満足度	100.0	100.0	<p>・接遇満足度 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者接遇満足度</td> <td>87.9</td> <td>90.0</td> </tr> <tr> <td>外来患者接遇満足度</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・接遇研修実施回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接遇研修実施回数</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	入院患者接遇満足度	87.9	90.0	外来患者接遇満足度	100.0	100.0	項目	R4実績	年度計画値	接遇研修実施回数	5	4
項目	R4実績	R9目標値																										
入院患者接遇満足度	87.9	90.0																										
外来患者接遇満足度	100.0	100.0																										
項目	R4実績	年度計画値																										
入院患者接遇満足度	87.9	90.0																										
外来患者接遇満足度	100.0	100.0																										
項目	R4実績	年度計画値																										
接遇研修実施回数	5	4																										
小項目	<p>(4) 市民への情報発信</p> <p>○市民への戦略的な広報 医療サービスや市民病院機構の運営状況について市民の理解を深めるため、目的や対象に応じた適切な内容や媒体による戦略的な広報を行うこと。</p>	<p>(4) 市民への情報発信</p> <p>○ICTを活用した情報発信の充実 ホームページの定期的な更新や院内紹介動画等のICT(情報通信技術)を活用し、積極的な情報発信を図る。</p> <p>○内外に向けた情報発信の充実 また、病院内外に向けて院内掲示の充実、院内広報誌の作成、市広報やマスコミへの情報提供等、情報発信の充実を図る。</p> <p>○市民公開講座・出前講座の実施 市民公開講座及び出前講座を開催し、健康増進の啓発を図る。</p>	<p>・出前講座実施回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座回数</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	出前講座回数	22	20	<p>・出前講座実施回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座回数</td> <td>22</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ホームページ情報発信回数 (回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホームページ情報発信回数</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	出前講座回数	22	20	項目	R4実績	年度計画値	ホームページ情報発信回数	3	12						
項目	R4実績	R9目標値																										
出前講座回数	22	20																										
項目	R4実績	年度計画値																										
出前講座回数	22	20																										
項目	R4実績	年度計画値																										
ホームページ情報発信回数	3	12																										

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】																														
中項目	3 医療の従事者の確保と育成	3 医療の従事者の確保と育成																																
小項目	(1) 医療従事者の確保 <u>○医師の確保</u> 地域住民に対して安心できる医療を安定的に提供できるように、医師の確保を図ること。 <u>○看護師等その他の医療に欠かせない人材の確保</u> また、看護師を始めとした医療従事者についても、医療機能を十分に発揮するために必要な人材の確保を図ること。	(1) 医療従事者の確保 <u>○医師の確保</u> 安定的に医療を提供するため、大学への医師派遣の依頼、人材紹介会社の活用、ホームページによる採用情報の発信等、医師の確保を図る。 <u>○看護師等その他医療従事者の確保</u> また、ホームページの採用ページの充実、実習生の積極的な受入、看護学校等への訪問、ナースバンクへの登録、インターンシップや見学会、体験事業の受入、就職説明会への参加等、市民病院機構を広くPRし、看護師やその他医療職の確保を図る。	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">医療従事者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>その他医療職</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> </table>	医療従事者数 (人)			項目	R4実績	R9目標値	医師数	8	10	看護師数	82	82	その他医療職	47	47	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">医療従事者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>その他医療職</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> </table>	医療従事者数 (人)			項目	R4実績	年度計画値	医師数	8	10	看護師数	82	82	その他医療職	47	47
医療従事者数 (人)																																		
項目	R4実績	R9目標値																																
医師数	8	10																																
看護師数	82	82																																
その他医療職	47	47																																
医療従事者数 (人)																																		
項目	R4実績	年度計画値																																
医師数	8	10																																
看護師数	82	82																																
その他医療職	47	47																																
小項目	(2) 医療従事者の育成 <u>○教育方針</u> <u>○研修体制の充実</u> 医療水準の向上を図るため、医療従事者に対して必要な教育や研修体制を充実させること。	(2) 医療従事者の育成 <u>○計画的な研修の実施</u> 地域を支える医療を実現できる人材を育成するため、職種やキャリアに応じた育成プランを構築し、医療従事者一人ひとりの成長に合わせたステップアップを支援する。 医療従事者の育成に必要な研修については、管理職によるマネジメントを徹底し、計画的に実施するとともに、eラーニングや電子書籍等のICTを活用し職員の自主性を促す研修体制を充実させることで、組織全体として研修の受講を積極的に推進する組織風土を根付かせ、職員の専門的な知識の習得や技術向上を支援する。 <u>○資格取得に対する支援</u> 病院運営において有益な専門資格や認定の取得については、取得における職場でのサポートや資格手当の支給等による支援体制の充実を図る。		<table border="1"> <tr> <th colspan="3">院内研修実施回数 (回)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>院内研修実施回数</td> <td>85</td> <td>90</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">院外研修受講者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>院外研修参加人数</td> <td>63</td> <td>60</td> </tr> </table>	院内研修実施回数 (回)			項目	R4実績	年度計画値	院内研修実施回数	85	90	院外研修受講者数 (人)			項目	R4実績	年度計画値	院外研修参加人数	63	60												
院内研修実施回数 (回)																																		
項目	R4実績	年度計画値																																
院内研修実施回数	85	90																																
院外研修受講者数 (人)																																		
項目	R4実績	年度計画値																																
院外研修参加人数	63	60																																
大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																																
中項目	1 組織ガバナンスの確立	1 組織ガバナンスの確立																																
小項目	(1) 効率的な組織体制と専門職員の確保 <u>○効率的に運営する組織体制の整備</u> 弾力的な人員配置を実施し、市民病院機構を効率的に運営する組織体制を整備すること。 <u>○病院経営の専門的な人材の確保</u> また、特に医業収益の源泉である診療報酬請求を担う医療事務担当、医師、看護師等医療職の確保を担う人事担当、資金の借入れや運用を担う財務担当に専門的知識をもった職員を確保するとともに、病院経営において必要な人材を育成すること。	(1) 効率的な組織体制と専門職員の確保 <u>○迅速かつ柔軟に対応できる組織</u> 理事長のリーダーシップによる迅速な意思決定を支援するため、理事会の適切な運営に努めるとともに、経営幹部会、連絡会により意思決定を確実に遂行する。また、病院の経営戦略に即した効率的で柔軟な組織改編や人員を配置する。 <u>○法人職員の確保</u> 専門職員については、病院経営特有の専門知識を持った優秀な人材を確保する。		<table border="1"> <tr> <th colspan="3">法人採用事務職員数 (人)</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>法人採用事務職員</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table>	法人採用事務職員数 (人)			項目	R4実績	年度計画値	法人採用事務職員	4	4																					
法人採用事務職員数 (人)																																		
項目	R4実績	年度計画値																																
法人採用事務職員	4	4																																

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】												
小項目	(2) 目標管理のモニタリングと評価 <u>○所属毎、階層毎の目標管理のモニタリングと評価の実施</u> 経営改革を的確に実施するため、市民病院機構全体はもちろんのこと、所属ごと及び階層ごとの目標管理のモニタリングと評価を継続して実施すること。	(2) 目標管理のモニタリングと評価 <u>○経営管理体制の充実</u> 経営改革を組織全体に浸透させるため、理事長が中心となってバランススコアカード等を活用し目標を管理する。また、内部統制担当役員を中心に、マネジメントレビューを計画的に実施し、経営情報や業務方法の課題等について分析・検討を行う。 <u>○人事評価制度を活用したモニタリング</u> 人事評価において目標管理制度による達成度評価を行い、各部門や職員にフィードバックするとともに、PDCAサイクルにより更なる改善を図る。	・マネジメントレビュー実施回数 (回/年) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マネジメントレビュー実施回数</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	マネジメントレビュー実施回数	2	2	・マネジメントレビュー実施回数 (回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マネジメントレビュー実施回数</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	マネジメントレビュー実施回数	2	2
項目	R4実績	R9目標値														
マネジメントレビュー実施回数	2	2														
項目	R4実績	年度計画値														
マネジメントレビュー実施回数	2	2														
小項目	(3) コンプライアンスの徹底 <u>○関係法令の遵守</u> <u>○行動規範と倫理の確立</u> 医療法（昭和23年法律第205号）、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）その他の関係法令の遵守を徹底するとともに、行動規範と倫理の確立に取り組むこと。	(3) コンプライアンスの徹底 <u>○コンプライアンスを徹底する風土づくり</u> 職員一人ひとりが自覚をもって関係法令や内部規程を遵守する組織風土を醸成するため、職員研修の定期的な実施や職員間での最新情報の共有を図る。 ハラスメント対策については、ハラスメントを未然に防ぐための研修や相談体制の充実を図る。		・コンプライアンス研修実施回数 (回/) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンプライアンス研修実施回数</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	コンプライアンス研修実施回数	7	6						
項目	R4実績	年度計画値														
コンプライアンス研修実施回数	7	6														
小項目	(4) リスクマネジメント体制の充実 <u>○個人情報等のリスク管理の適正に実施する体制の充実</u> 個人情報保護をはじめ市民病院機構を取り巻く様々なリスク管理を適切に実施するため、リスクマネジメント体制の充実を図ること。	(4) リスクマネジメント体制の充実 <u>○リスクマネジメント体制の整備</u> リスク管理委員会においてリスク管理を適正に行う。 <u>○個人情報保護の適正な対応</u> 個人情報保護については、改正個人情報保護法に対応するとともに、職員への周知徹底を図り適切な対応に努める。		・リスク管理委員会実施回数 (回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委員会実施回数</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	委員会実施回数	6	6						
項目	R4実績	年度計画値														
委員会実施回数	6	6														
小項目	(5) デジタル化の推進 <u>○デジタル化を活用した効率化の推進</u> デジタル化を積極的に推進し、DX（デジタルトランスフォーメーション）時代の環境の変化に対応することで、効率的な法人運営を図ること。 <u>○情報セキュリティの強化</u> また、サイバー攻撃への対応等医療情報管理の観点から情報セキュリティ対策の強化に努めること。	(5) デジタル化の推進 <u>○患者への利便性、業務の効率化</u> 医療情報システムを活用し、業務の負担軽減や効率化を図る。マイナンバーカードの健康保険証利用については、引き続き利用促進を図る。 <u>○医療情報システムの安全管理の徹底</u> 情報セキュリティの安全管理のため職員や担当者向けの講習会や研修を開催し、情報セキュリティリテラシーの向上を図る。また、「ランサムウェア」等の病院を標的としたサイバー攻撃に対応したバックアップシステムの構築や損害賠償保険に加入し、情報セキュリティ対策を強化する。														
中項目	2 職員の士気の向上	2 職員の士気の向上														
小項目	(1) 職員の意識改革 <u>○目標及び評価における職員の情報共有</u> 市民病院機構の目標を達成するために、計画や目標等の情報を全職員が共有し浸透させる取組を充実させ、職員全体の意識改革に努めること。	(1) 職員の意識改革 <u>○理念や中期計画等の職員への浸透</u> 市民病院機構の理念や基本方針、中期目標、中期計画については、経営陣である役員は基より、全職員とも共有を図り、職員一丸となって職務に取り組んでいく組織風土を醸成する。 <u>○目標及び評価における職員の情報共有</u> 組織内での伝達体系の強化やICTの活用等によって、市民病														

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】																																										
		院機構全体だけでなく部署ごとの目標や結果、その他経営情報等の共有を図る。																																												
小項目	(2) 働きやすい職場環境の確保と働き方改革への対応	(2) 働きやすい職場環境の確保と働き方改革への対応																																												
	<p>○ワークライフバランスの実現 ワークライフバランスに配慮し、職員が本来業務に専念できる体制を確保すること。</p> <p>○タスクシフト・タスクシェアを含めた働き方改革への対応 タスク・シフト/シェアを含めた職場環境の整備を図る等、医師をはじめとした職員の働き方改革に対する取組を進めること。</p>	<p>○ワークライフバランスの推進 職員が業務に専念できる環境を整えるため、職員満足度アンケートを実施し、職員の意見や要望を吸い上げ、職場環境に反映していく仕組みの充実を図る。 ワークライフバランスの実現に向けて、有給休暇取得の促進や育児休業からの復職を支援する仕組みの充実等、仕事と家庭が両立できる環境を推進していく。</p> <p>○タスクシフト、タスクシェアの推進 多職種のリエゾンチームによるチーム医療の推進や看護補助者の積極的な活用等によりタスクシェアやタスクシフトを推進し、医療職の負担軽減に取り組む。 医師の働き方改革については、非常勤医師による宿日直体制の整備等常勤医師の時間外労働軽減に取り組む。</p>	<p>・年次有給休暇取得日数 (日/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次有給休暇取得日数</td> <td>12.7</td> <td>12.8</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	年次有給休暇取得日数	12.7	12.8	<p>・年次有給休暇取得日数 (日/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次有給休暇取得日数</td> <td>12.7</td> <td>12.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・職員離職率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師離職率</td> <td>4.7</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>職員離職率</td> <td>8.4</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	年次有給休暇取得日数	12.7	12.8	項目	R4実績	年度計画値	看護師離職率	4.7	7.5	職員離職率	8.4	8.0																					
項目	R4実績	R9目標値																																												
年次有給休暇取得日数	12.7	12.8																																												
項目	R4実績	年度計画値																																												
年次有給休暇取得日数	12.7	12.8																																												
項目	R4実績	年度計画値																																												
看護師離職率	4.7	7.5																																												
職員離職率	8.4	8.0																																												
小項目	(3) 人事制度・給与体系の構築	(3) 人事制度・給与体系の構築																																												
	<p>○業務実績や社会一般の情勢に適した職員の給与体系の構築 職員の給与は、勤務成績や市民病院機構の業務実績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合すること。また、職員のモチベーション向上につながる人事制度や給与体系の構築を図ること。</p>	<p>○貢献度に応じた給与体系の構築 人事制度・給与体系については、職員の業績や能力を公正に評価するための人事評価制度の適正な運用を図るとともに、社会情勢に適應し、評価に基づく給与体系を構築することで職員のモチベーションの向上、職員確保及び組織の活性化を図る。</p>																																												
大項目	第4 財務内容の改善に関する事項	第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置																																												
中項目	1 収入の増加・確保	1 収入の増加・確保																																												
小項目	(1) 病床利用率・診療単価の向上	(1) 病床利用率・診療単価の向上																																												
	<p>○病床利用率の向上 ○新規入院患者の増 ○診療単価の向上 診療体制を充実させ、新規入院患者の増加や病床利用率の向上による増収を図ること。また、診療機能に見合った適切な収入を確保する等、診療単価の向上を図ること。</p>	<p>○適正なベッドコントロール 部署間での連携を密にして、各病棟におけるベッドコントロールを適正に実施し、予測できない医療環境の変化に柔軟に対応しながら他病院からの紹介や救急対応による患者をできる限り受け入れることで、新規入院患者数の増加や病床利用率の向上を図る。</p> <p>○各診療単価の向上 診療単価については、新型コロナウイルス感染症の特例措置の見直しをはじめ減少することが見込まれる中、診療報酬改定項目の分析を行い、算定可能である項目の体制整備を行うことで、基礎となる診療単価を確保の上、更なる診療単価向上を図る。</p>	<p>・各指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日平均入院患者数(人)</td> <td>96.5</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数(人)</td> <td>175.7</td> <td>154.5</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数(人)</td> <td>1,249</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>80.4</td> <td>84.0</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(円)</td> <td>42,483</td> <td>39,800</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価(円)</td> <td>10,313</td> <td>9,600</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	R9目標値	1日平均入院患者数(人)	96.5	100.8	1日平均外来患者数(人)	175.7	154.5	新規入院患者数(人)	1,249	1,600	病床利用率(%)	80.4	84.0	入院診療単価(円)	42,483	39,800	外来診療単価(円)	10,313	9,600	<p>・各指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日平均入院患者数(人)</td> <td>96.5</td> <td>99.2</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数(人)</td> <td>175.7</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数(人)</td> <td>1,249</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>80.4</td> <td>82.5</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価(円)</td> <td>42,483</td> <td>39,500</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価(円)</td> <td>10,313</td> <td>9,500</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	1日平均入院患者数(人)	96.5	99.2	1日平均外来患者数(人)	175.7	153	新規入院患者数(人)	1,249	1,500	病床利用率(%)	80.4	82.5	入院診療単価(円)	42,483	39,500	外来診療単価(円)	10,313	9,500
項目	R4実績	R9目標値																																												
1日平均入院患者数(人)	96.5	100.8																																												
1日平均外来患者数(人)	175.7	154.5																																												
新規入院患者数(人)	1,249	1,600																																												
病床利用率(%)	80.4	84.0																																												
入院診療単価(円)	42,483	39,800																																												
外来診療単価(円)	10,313	9,600																																												
項目	R4実績	年度計画値																																												
1日平均入院患者数(人)	96.5	99.2																																												
1日平均外来患者数(人)	175.7	153																																												
新規入院患者数(人)	1,249	1,500																																												
病床利用率(%)	80.4	82.5																																												
入院診療単価(円)	42,483	39,500																																												
外来診療単価(円)	10,313	9,500																																												
小項目	(2) 医療環境の変化への対応	(2) 医療環境の変化への対応																																												
	<p>○法改正や診療報酬改正への迅速な対応 法改正や診療報酬改定に迅速に対応し、収益の改善を図ること。</p>	<p>○診療報酬改正等の情報収集・早期対応 診療報酬の改定や法改正については、適切な診療報酬を確保し、安定的な収益向上を図るため、徹底した情報収集や分析を行い、迅速かつ的確に対応する。</p> <p>○診療報酬の適正化 診療報酬の査定減・返戻・請求漏れについては、レセプトチェ</p>		<p>・診療報酬査定減率 (%)</p>																																										

項目		中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】											
			<p>ックソフトを活用した効率的な点検を行う。また、分析、診療報酬に係る査定や返戻の結果と対応策について、診療部と医事部門による定期的な情報共有や検討を実施し、診療報酬請求の精度向上を図る。</p> <p>○未収金の回収・管理 未収金については、院内の連携や患者への説明、督促、訪問徴収等未収金の管理体制を強化し、発生防止と早期回収に努める。 生活困窮者については、専用相談窓口を設けソーシャルワーカーによる相談支援を早期に行い、支払方法や社会資源の活用等、それぞれの状況に応じて対応する。</p>		<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>査定率</td> <td>0.14</td> <td>0.10</td> </tr> </table>	項目	R4実績	年度計画値	査定率	0.14	0.10					
項目	R4実績	年度計画値														
査定率	0.14	0.10														
中項目	2 経費削減・抑制	2 経費削減・抑制														
小項目	(1) 施設管理の強化	(1) 施設管理の強化														
	<p>○施設管理に伴う維持管理費のコスト削減 施設管理に伴う維持管理費についてコスト削減を図ること。</p>	<p>○維持管理費のコスト削減 施設の維持修繕については、中期計画期間において計画的に実施することで、施設の長寿命化を図る。 また、施設管理や業務運営等に伴う経費については、今後物価高騰により経費増加が見込まれる中、費用の状況を定期的に分析し、改善策を検討することで、職員のコスト削減意識を高め、積極的にコスト削減を図る。</p>	<p>・経費比率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> <tr> <td>経費比率</td> <td>12.1</td> <td>13.8</td> </tr> </table>	項目	R4実績	R9目標値	経費比率	12.1	13.8	<p>・経費比率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>経費比率</td> <td>12.1</td> <td>13.3</td> </tr> </table>	項目	R4実績	年度計画値	経費比率	12.1	13.3
項目	R4実績	R9目標値														
経費比率	12.1	13.8														
項目	R4実績	年度計画値														
経費比率	12.1	13.3														
小項目	(2) 医療機器の適正な管理	(2) 医療機器の適正な管理														
	<p>○医療機器の計画的な整備 医療機器は、必要性や費用対効果を勘案し、計画的に整備すること。</p>	<p>○医療機器の計画的な整備 医療機器については、日常的に点検や定期的なメンテナンスを行い、機能を維持する。 医療機器の更新については、整備計画に基づき、医療機器購入検討委員会を中心に必要性や費用対効果を勘案した上で、計画的に更新を行う。</p>	<p>・整備計画額(別途計画数値記載)</p>													
小項目	(3) 材料費の抑制	(3) 材料費の抑制														
	<p>○診療材料費の抑制 医薬品や診療材料等の在庫管理を適正に行い、費用の抑制を図ること。</p>	<p>○医薬品・診療材料の在庫管理の適正化 医薬品や診療材料については、SPD (院内物流管理)による適正な在庫管理を行う。また、診療材料委員会を中心として診療材料に導入しているSPDの運用方法や診療材料の費用対効果を検討し材料費の抑制を図る。</p>	<p>・材料費比率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>14.1</td> <td>10.1</td> </tr> </table>	項目	R4実績	R9目標値	材料費比率	14.1	10.1	<p>・材料費比率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>材料費比率</td> <td>14.1</td> <td>10.1</td> </tr> </table>	項目	R4実績	年度計画値	材料費比率	14.1	10.1
項目	R4実績	R9目標値														
材料費比率	14.1	10.1														
項目	R4実績	年度計画値														
材料費比率	14.1	10.1														
小項目	(4) 人件費の適正化	(4) 人件費の適正化														
	<p>○人員管理による人件費の適正化 市民病院機構の規模に見合った最適な人員管理及び人事配置を行い、人件費の適正化を図ること。</p>	<p>○病院の規模に適合した人事管理 市民病院機構職員については、中長期的な人員計画に基づき、組織規模に応じた人員管理を行う。また、人件費の適正化を図るため、今後見込まれる人件費上昇に対応しつつ、限りある人材を最大限に生かし、効率的かつ効果的な人員配置や組織づくりに努める。</p>	<p>・医業収益対給与費比率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> <tr> <td>医業収益対給与費比率</td> <td>68.2</td> <td>75.4</td> </tr> </table>	項目	R4実績	R9目標値	医業収益対給与費比率	68.2	75.4	<p>・医業収益対給与費比率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> <tr> <td>医業収益対給与費比率</td> <td>77.5</td> <td>75.8</td> </tr> </table>	項目	R4実績	年度計画値	医業収益対給与費比率	77.5	75.8
項目	R4実績	R9目標値														
医業収益対給与費比率	68.2	75.4														
項目	R4実績	年度計画値														
医業収益対給与費比率	77.5	75.8														
小項目	(5) 効率的な予算執行	(5) 効率的な予算執行														
	<p>○年度や予算科目の弾力的な運用による予算執行の効率化 予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度を活用し、効率的な予算執行を図ること。</p>	<p>○効果的な予算管理と予算執行の弾力化 予算については、部署別、部門別の予算執行状況及び経営状況の常時把握や予算配分の適正実施を引き続き確保し、厳格に予算管理を行うとともに、病院運営において有効な業務や即時対応が必要な業務等において、弾力的な運用が可能な地方独立行政法人の会計制度を活用した効率的な予算執行を行う。</p>														

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】																								
小項目	(6) 契約方法の見直し ○民間手法を取り入れた契約方法の見直し 地方独立行政法人のメリットを生かし、契約方法や購入方法について、民間的手法を取り入れた見直しを行うことにより、コスト削減を図ること。	(6) 契約方法の見直し ○契約手法の見直し 契約方法については、定期的に精査し、複数年契約等の契約期間や契約内容の見直しを行い、調達コストの削減を図る。		・契約見直し件数 (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約見直し件数</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	契約見直し件数	2	2																		
項目	R4実績	年度計画値																										
契約見直し件数	2	2																										
中項目	3 経営基盤の強化	3 経営基盤の強化																										
小項目	(1) 中期目標期間の経営 ○安定的な経営と黒字の実現 理事長のリーダーシップの下、組織一体となって経営改革に取り組み、安定し自立した経営基盤を確立することで、目標期間中の一層の経常収支の黒字に努めること。	(1) 中期目標期間の経営 ○黒字達成に向けた経営改革の推進 中期目標の確実な達成と更なる発展を目指し、理事長を筆頭に役員が中心となって職員全体による経営改革を推進できる体制を確保する。また、新型コロナウイルス感染症対策の反動や物価高騰など、医業経営を取り巻く環境が厳しくなることが見込まれる中、地域に根差した中長期的な視点で安定的な病院経営を行い、中期目標期間における経常収支の黒字に努めるとともに、医業収支比率及び修正医業収支比率の向上を図る。	・指標 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>R9目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>108.8</td> <td>102.3</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>97.6</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td>修正医業収支比率</td> <td>95.0</td> <td>93.1</td> </tr> </tbody> </table> ※修正医業収支比率 医業費用に対する医業収益から他会計負担金、運営費負担金等を除いたもの(修正医業収益)の割合を示します。	項目	R4実績	R9目標値	経常収支比率	108.8	102.3	医業収支比率	97.6	95.8	修正医業収支比率	95.0	93.1	・指標 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4実績</th> <th>年度計画値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>108.8</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>97.6</td> <td>92.7</td> </tr> <tr> <td>修正医業収支比率</td> <td>95.0</td> <td>90.1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4実績	年度計画値	経常収支比率	108.8	100.9	医業収支比率	97.6	92.7	修正医業収支比率	95.0	90.1
項目	R4実績	R9目標値																										
経常収支比率	108.8	102.3																										
医業収支比率	97.6	95.8																										
修正医業収支比率	95.0	93.1																										
項目	R4実績	年度計画値																										
経常収支比率	108.8	100.9																										
医業収支比率	97.6	92.7																										
修正医業収支比率	95.0	90.1																										
小項目	(2) 運営費負担金 ○運営費負担金の適切な反映 運営費負担金は、公的な医療機関としての役割を果たすために必要な不採算医療や政策医療等の実施に伴う独立採算が困難な経費について負担するものであり、中期計画において適切に反映すること。	(2) 運営費負担金 ○運営費負担金の適正な算定 運営費負担金及び運営費交付金については、中期目標に示された不採算医療等を実施するために総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じて必要な金額を計上する。	・予算・収支計画(別途計画数値記載)																									
大項目	第5 その他業務運営に関する重要事項	第5 その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置																										
中項目	1 附帯事業 ○運附帯事業の適切な運営 附帯事業として実施する訪問看護ステーションれんげ、たつの市居宅介護支援事業所、室津診療所等について、地域のニーズや取り巻く環境を十分に踏まえた上で運営すること。	1 附帯事業 ○附帯事業の安定した運営 附帯事業となる訪問看護ステーションれんげ、たつの市居宅介護支援事業所及び室津診療所については、それぞれの事業において地域のニーズに応えながら、病院事業との連携を密にして効率的な運営に努める。																										
		第6 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画																										
		1 予算計画 ・予算計画 ・人件費の見積り	・R6~R9予算 ・人件費の見積 ・運営費負担金の基準	・年度ごと予算 ・年度ごと人件費の見積 ・運営費負担金の基準																								
		2 収支計画 ・収支計画	・R6~R9収支計画	・年度ごと収支計画																								
		3 資金計画 ・資金計画	・R6~R9資金計画	・年度ごと資金計画																								

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】
		第7 短期借入金の限度額		
		1 短期借入金の限度額		
		(1) 限度額		
		・限度額		・1,000百万円
		(2) 短期借入金の発生事由		
		・短期借入金が発生する場合の事由	ア 一時的な資金不足への対応 イ 大規模災害や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	
		第8 出資等に係る不要財産の処分に関する計画		
		1 出資等に係る不要財産の処分に関する計画		
		・不要財産の処分計画		介護老人保健事業の廃止に伴い、介護老人保健施設ケアホームみつ入所棟の解体撤去を行う。
		第9 第8の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画		
		1 第8の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画		
		・財産の剰余・担保の計画		なし
		第10 剰余金の使途		
		1 剰余金の使途		
		・剰余金が発生した時の使途方法		決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。
		第11 料金に関する事項		
		1 料金		
		(1) 健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び介護保険法その他法令等により診療等を受ける者に係る料金		
		・法等に規定された料金		当該法令の定めるところにより算定した額。
		(2) 前号以外の額		
		・理事長が別に定める額		別に理事長が定める額。
		2 減免		

項目	中期目標 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の項目	中期計画 (R6~R9) の指標 【中期計画期間(4年後)における数値目標】	年度計画 (R6) の指標 【中期計画に基づいた各年度の実施計画における数値目標】
		(1) 料金を納付する資力がないと認める者 ・資力がないと認められた場合	料金を納付する資力がないと認める者	
		(2) その他理事長において特に必要があると認める者 ・理事長が特に認める場合	その他理事長において特に必要があると認める者	
		第12 業務運営等に関する規則で定める事項		
		1 施設及び整備に関する計画 ・施設及び整備に関する計画	・目標期間内の施設及び設備の内容 ・目標期間内の施設及び設備の予定額 ・目標期間内の施設及び設備の財源	・年度内の施設及び設備の内容 ・年度内の施設及び設備の予定額 ・年度内の施設及び設備の財源
		2 中期目標の期間を超える債務負担 ・中期目標期間を超える債務負担の予定	・目標期間内の償還額 ・次期以降の償還額 ・総債務償還額	・各年度償還額
		3 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に関する計画 ・次期における積立金の処分計画	・前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設の整備、修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	
		4 1~3に掲げるもののほか、法人の業務の執行に関して必要な事項 ・該当がある場合	・なし	

中期計画・年度計画数値一覧表

計画項目	計画	項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5見込値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R8目標値	中期計画値 R9目標値	ベンチマーク 参考値比較数値	根拠資料・データ等
2-1-1	中期計画	高度急性期病床（床）	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	地域医療構想
2-1-1	中期計画	急性期病床（床）	36	36	36	36	36	36	36	36	36	56	地域医療構想
2-1-1	中期計画	回復期リハビリ病床（床）	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	地域医療構想
2-1-1	中期計画	地域包括ケア病床（床）	40	40	40	40	40	40	40	40	40	20	地域医療構想
2-1-2	中期計画	地域救急貢献率（％）	2.17	2.15	2.12	-	-	2.18	2.22	2.27	2.35	2.12	実績値より
2-1-2	年度計画	救急入院患者数（人）	400	381	470	450	420	470	-	-	-	-	実績値より
2-1-3	中期計画	年間紹介率（％）	41.6	31.5	43.9	51.4	60.0	45.0	45.0	45.0	45.0	34.3	全国平均値
2-1-3	中期計画	年間逆紹介率（％）	28.3	16.4	17.4	25.5	50.0	30.0	30.0	35.0	35.0	25.7	全国平均値
2-1-3	年度計画	一般病棟在宅復帰率（％）	80.2	81	75.5	82.2	85.0	90.0	-	-	-	85	実績値より
2-1-3	年度計画	回復期病棟在宅復帰率（％）	94	98.5	99.1	96.3	95.0	95.0	-	-	-	98	実績値より
2-1-3	年度計画	訪問診療件数（件）	730	940	851	860	900	870	-	-	-	480	実績値より
2-1-3	年度計画	訪問看護ステーション利用者数（人）	5,035	5,226	5,635	5,350	5,700	5,600	-	-	-	5,635	実績値より
2-1-4	年度計画	室津診療所患者数（人）	979	865	1074	830	900	900	-	-	-	1,900	実績値より
2-1-5	年度計画	人間ドック受診者数（人）	524	551	806	640	590	650	-	-	-	220	実績値より
2-1-5	年度計画	感染対策会議実施回数（回）	-	-	4	4	-	4	-	-	-	4	実績値より
2-1-6	年度計画	災害訓練回数（回）	1	1	1	1	1	1	-	-	-	1	実績値より
2-1-7	年度計画	連携事業数（事業）	1	2	2	2	2	2	-	-	-	2	実績値より
2-2-1	中期計画	医療の質の測定・公表回数（回）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	実績値より
2-2-1	年度計画	1か月間・100病床当たりのインシデント報告回数（回/月）	38.4	41.5	53.0	60.0	-	61.0	-	-	-	41.7	全国平均値

中期計画・年度計画数値一覧表

計画項目	計画	項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5見込値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R8目標値	中期計画値 R9目標値	ベンチマーク 参考値比較数値	根拠資料・データ等
2-2-1	年度計画	クリティカルパス適用数（件）	0	11	35	40	30	50	-	-	-	-	実績値より
2-2-2	中期計画	入院患者満足度（%）	90.6	92.3	91.2	-	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	69.4	受療行動調査 （全国平均）
2-2-2	中期計画	外来患者満足度（%）	95.5	95.9	94.0	-	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	64.7	受療行動調査 （全国平均）
2-2-3	中期計画	入院患者接遇満足度（%）	94.0	96.3	87.9	-	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	71.8	受療行動調査 （全国平均）
2-2-3	中期計画	外来患者接遇満足度（%）	97.8	98.8	100	-	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	63.5	受療行動調査 （全国平均）
2-2-3	年度計画	接遇研修実施回数（回）	3	3	5	5	3	4	-	-	-	3	実績値より
2-2-4	年度計画	出前講座回数（回）	8	6	22	18	20	20	-	-	-	20	実績値より
2-2-4	年度計画	ホームページ情報発信回数（回）	-	5	3	12	12	12	-	-	-	5	実績値より
2-3-1	中期計画	医師数（人）	7	6	8	10	9	10	10	10	10	9	実績値より
2-3-1	中期計画	看護師数（人）	85	83	82	82	84	82	82	82	82	84	実績値より
2-3-1	中期計画	その他医療職（人）	43	44	47	47	48	47	47	47	47	48	実績値より
2-3-2	年度計画	院内研修実施回数（回）	58	36	85	90	80	90	-	-	-	-	実績値より
2-3-2	年度計画	院外研修参加人数（人）	49	36	63	60	60	60	-	-	-	-	実績値より
3-1-1	年度計画	法人採用事務職員（人）	4	4	4	4	4	4	-	-	-	4	事務局行政職職員数
3-1-2	中期計画	マネジメントレビュー実施回数（回）	1	2	2	2	2	2	2	2	2	-	上半期結果・下半期結果
3-1-3	年度計画	コンプライアンス研修実施回数（回）	2	2	7	8	3	6	-	-	-	-	定期的研修
3-1-4	年度計画	リスク管理委員会実施回数（回）	6	6	6	6	6	6	-	-	-	-	2カ月に1回程度

中期計画・年度計画数値一覧表

計画項目	計画	項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5見込値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R8目標値	中期計画値 R9目標値	ベンチマーク 参考値比較数値	根拠資料・データ等
3-2-2	中期計画	年次有給休暇取得日数(日)	11.5	12.2	12.7	-	12.0	12.8	12.8	12.8	12.8	9.9	厚労省 全国平均
3-2-2	年度計画	看護師離職率(%)	10.8	8.5	4.7	-	8.3	7.5	-	-	-	12.8	病院看護実態調査 兵庫県
3-2-2	年度計画	正規職員離職率(%)	10.0	9.6	8.4	-	-	8.0	-	-	-	15.3	雇用動向調査 厚生労働省
4-1-1	中期計画	1日平均入院患者数(人)	103.6	92.6	96.5	98.4	108.2	99.2	99.6	100.0	100.8	94	類似独法平均
4-1-1	中期計画	1日平均外来患者数(人)	158.8	172.9	175.7	150.0	199.2	153	153.5	154.0	154.5	214	類似独法平均
4-1-1	中期計画	新規入院患者数(人)	1,495	1,287	1,249	1,500	1,245	1,500	1530	1560	1,600	1250	実績値より
4-1-1	中期計画	病床利用率(%)	86.3	77.2	80.4	82.0	90.2	82.5	83.0	83.5	84.0	63.6	類似独法平均
4-1-1	中期計画	入院診療単価(円)	35,545	38,681	42,483	39,648	37,500	39,500	39,600	39,700	39,800	39,862	類似独法平均
4-1-1	中期計画	外来診療単価(円)	9,814	11,185	10,313	9,638	8,600	9,500	9,530	9,560	9,600	11,688	類似独法平均
4-1-2	年度計画	査定率(金額)(%)	0.12	0.30	0.14	0.14	0.10	0.10	-	-	-	0.14	実績値より
4-2-1	中期計画	経費比率(%)	14.9	12.4	12.1	13.0	12.2	13.3	13.3	13.7	13.8	18	類似独法平均
4-2-3	中期計画	材料費比率(%)	12	11.9	14.1	11.7	10.5	10.1	10.1	10.1	10.1	10.1	類似独法平均
4-2-4	中期計画	医業収益対給与費比率(%)	68.2	69.6	68.2	73.1	76.7	75.8	75.7	75.5	75.4	56.7	類似独法平均
4-2-6	年度計画	契約方法の見直し	5	3	2	2	2	2	-	-	-		-
4-3-1	中期計画	経常収支比率(%)	109.3	110.4	108.8	105.7	101	100.9	100.5	101.2	102.3	105.2	類似独法平均
4-3-1	中期計画	医業収支比率(%)	97.5	97.3	97.6	95.1	92.2	92.7	92.5	93.2	95.8	94.8	県内医業収支比率平均
4-3-1	中期計画	修正医業収支比率(%)	91.0	90.4	95.0	90.4	-	90.1	89.9	90.6	93.1	73.6	類似独法平均

I 収支概要

単位:千円

	R5 (4~12月)	R4 (4~12月)	対前年比
営業収益	1,674,590	1,892,321	▲217,731
医業収益	1,418,531	1,488,590	▲70,059
介護老人保健施設収益	0	77,693	▲77,693
訪問看護事業収益	30,331	32,197	▲1,866
居宅介護支援事業収益	7,508	9,385	▲1,877
運営費負担金収益他	212,424	278,937	▲66,513 ※1
その他営業収益	5,796	5,520	276
営業外収益	3,336	3,564	▲228
経常収益	1,677,926	1,895,885	▲217,959
営業費用	1,610,274	1,770,572	▲160,298
医業費用	1,521,557	1,551,604	▲30,047
介護老人保健施設費	0	131,022	▲131,022
訪問看護事業費用	34,719	35,067	▲348
居宅介護支援事業費用	9,621	8,382	1,239
一般管理費	44,377	44,497	▲120
営業外費用	3,591	3,730	▲138
経常費用	1,613,865	1,774,302	▲160,437
医業収支	▲103,026	▲63,014	▲40,012
介護老人保健施設収支	0	▲53,329	53,329
訪問看護事業収支	▲4,388	▲2,870	▲1,518
居宅介護支援事業収支	▲2,112	1,003	▲3,116
経常収支	64,061	121,583	▲57,522

注)金額は、それぞれ四捨五入によっているので、合計と一致しないものがあります。

※1 運営費負担金収益他に、資産見返補助金等戻入を含みます。

2 重要指標の状況

	R5 (4~12月)	R4 (4~12月)	R5年度計画	第1期中期目標期間 終了時の見込値
救急搬送受入率(%)	85.3%	81.7%	82.0%	80.6%
病床利用率(%)	80.2%	78.6%	90.2%	75.4%
入院診療単価(円)	39,740	41,327	31,780	45,851
外来診療単価(円)	9,590	10,120	8,600	10,937
経費比率(%)	12.9%	12.3%	12.2%	10.3%
材料費比率(%)	12.5%	15.0%	10.5%	14.8%
医業収益対給与比率(%)	73.6%	69.2%	77.6%	68.7%
経常収支比率(%)	104.0%	106.9%	101.0%	109.0%
医業収支比率(%)	93.2%	95.9%	92.2%	97.6%